

第4回理事会・臨時総会



ご
来
賓

警察庁
生活安全保安課
山田好孝課長

経済産業省 製造
産業局産業機械課
玉井優子課長

日時／平成30年12月6日(木) 16時～17時

場所／JAIA 会議室 出席／里見治会長はじめ理事22名＋監事1名

平成30年最後となる理事会・臨時総会にはご来賓2氏のご臨席。冒頭、それぞれご挨拶をいただいた。

まず、警察庁の山田課長は、今年4月 JAIA が発足し新体制下、継続して営業の健全化に向け尽力していることにに対し感謝の意を表し「アミューズメント業界において JAIA がしっかりと指導力を発揮することにより、ゲームセンターは国民から安心して楽しめる場所として受け入れられる」として、引き続いての協力を呼びかけた。また、経済産業省の玉井課長は、前課長の片山隆一氏の後任として7月に着任しており、自己紹介。これまで同じ製造産業局で主にインフラ輸出を担当してきたことから「そういう経験も含めお役に立てることもあるかと思う。アミューズメント業界が発展していけるよう努力していきたい」と語った。

続いて挨拶に立った里見会長は、インバウンドの方たちにとってゲームセンターは新鮮であり喜んでいただいている(欧米ではゲームセンターが減少傾向)との状況とあわせ、近年の売上アップの要因として、①風適法改正による保護者同伴時の年少者立入規制時間の緩和、②特に繁華街でのインバウンド効果、③施設の健全化の3点をあげ、「今後、当局にさらなるお願いやご支援をお願いすることもあるだろうが、それにはまず JAIA なら安心して任せられると認識いただくことが大切。そのために最大限の努力をしていく。今年も残りわずか。来年また良い年にしていきたい」と締めくくった。

【臨時総会議事】

公益目的支出計画変更認可申請について

AMマシン事業部(IBJAMMA)が一般社団法人(平成24年4月)となった際、内閣府に申請・認可された公益目的財産については7年間で公益事業への支出を実施することとしていたが、その後、団体統合を見据えた事業内容の見直し等によって、期間延長の必要性が蓋然的となったことから、内閣府に対し、改めて期間変更(現行7年→修正10年)の認可を申請すべく手続きを行う。

事務局から臨時総会議決権取得状況(議決権のある社員総数25・総社員の議決権数9,991のうち出席社員数(書面により議決権を行使した者を含む)144・議決権総数8,669)が報告された後、上記の説明があり異論なく承認。標記議案は決議された。なお、今後の手続きに関しては、来年1月に内閣府へ申請、3月に内閣府による審査・認可というスケジュールとなる。

【報告事項】

- ◎今後の規制緩和と要望について(柴田専務理事説明、以下参照)
- ◎青少年指導員養成講座開催結果報告(※9、11月号参照)
- ◎地域懇談会開催状況報告(今年度は11カ所にて開催)
- ◎全国情報交換会開催結果報告(※2～3ページ参照)
- ◎店舗データベースシステムについて(※3ページ参照)
- ◎平成29年度AM産業界実態調査報告(※11月号参照)
- ◎S-JAEPO実施報告(※10月号参照)
- ◎中国GTI視察報告(9月11～13日。上山辰美常務理事説明)
- ◎IAAPAエキスポ関係視察報告(※8ページ参照)
- ◎平成30年度遊技施設安全管理講習会報告(※次号掲載)
- ◎賀詞交歓会について(※10ページ参照)
- ◎JAEPO2019について(※10月号参照)
- ◎今後の理事会等スケジュールについて

今後の規制緩和と要望について

1. 16歳未満の者の保護者同伴によるゲームセンター入場規制時間の緩和
①改正風適法施行(平成28年6月23日)に伴う条例改正により、概ね達成した。
②但し、岩手、茨城、栃木、鳥取、(沖縄)においては、保護者同伴の場合であっても、規制時間の延長規程がないまま。今後は、地域懇談会等を通して、ゲームセンターの実情と業界活動へのご理解を得る活動を加速化させる。
2. リデンプションに関連した動き
①風適法の規制緩和は、業界の要望だけではなく、上記1.の「保護者同伴の場合の立ち入り規制の緩和」のように、国民の同意が必要である。
②現状は、日本国民にリデンプションが周知されておらず、国民の合意を得るには、まずは、どのような遊びなのか知らしめる必要がある。そのため、遊技の結果に応じた景品を提供しないチケットベンダーシステムの導入を進め、リデンプションへの理解を広める。
③これに合わせて、地域懇談会の席上等で、教育的ゲームを対象に少額学用品(鉛筆・消しゴム等)をご褒美程度に提供することについて問う活動を継続し、教育関係者から賛意を戴く活動を行う。
3. クレーン式遊技機等に提供される景品(物品)の価格の改正(800円→1000円)
①平成9年以降、概ね800円が定着。
②ゲームセンターが健全な運営の中で景品の提供が行われていることを基盤として、消費税の増税が3回目となる次年度以降も、改めて景品価格の改定の要請を行う。

4. クレーン式遊技機等の遊戯方法の多様化等

- ①法規部として、今年度当局に問い合わせたクレーン機等の新遊技機案件に関し、適合機として多数の了解を戴き、会員メーカーの製品化及び販売が進んでいる。
- ②現場において風適法の運用に関して疑義が生じた場合には、法務部に問い合わせること。

＜新たな要望事項として＞

5. ゲームセンターへの外国人就労の許可

- ①人手不足や東京オリンピック(2020年)に向けた政府のインバウンド対応による規制緩和の動きの中、外国人留学生等をスタッフとして採用したい旨の要望に関しては、入管法施行規則19条第5項の規定(風俗営業・風俗関連営業が行われている場所では、いかなる種類のアルバイトも禁じる。)が存在するために進展していない。
- ②風適法営業の中で、唯一年少者入場が許されており、年少者入場時間の緩和の法律改正があったことを軸に、入管法施行規則から外すよう、重ねて要請する。

6. ゲームセンターの深夜営業(営業時間延長)の実現

- ①風適法では、午前0時から6時までは営業してはならない(都道府県で別途定めた場合を除く)と規定されている一方、繁華街などについては条例で営業時間を延長できると規定されている。
- ②多数の外国人が来訪する大規模な繁華街を有する東京都、あるいは大阪府から要請活動を推進する。

JAIA 施設営業事業部 第1回情報交換会



JAIAが発足して初となる施設営業事業部の「情報交換会」が平成30年11月20日(火)～21日(水)の日程で鹿児島において開催された。

旧AOUでは全国10地区の持ち回りで毎年「全国大会」を実施してきたが、各地区の負担等を勘案のうえ平成28年より開催形式を見直し「情報交換会」と名称も一新。平成28年は千葉県木更津市、29年は鳥取県米子市が会場となっており、今回は鹿児島県の犬伏和章本部長の協力により鹿児島市の「SHIROYAMA HOTEL kagoshima」を舞台に87名が参加して実施となった。

明治維新150周年。NHK大河ドラマでは『西郷どん』が放映されるなど、今年は鹿児島にとって記念すべき年。「情報交換会」には、西郷隆盛研究家の安川あかね氏を講師とする講演(3ページに概要)が盛り込まれ、西郷隆盛の魅力あふれる人柄や数奇な運命に参加者は興味深く聴き入った。



安川あかね氏の講演の後15分間の休憩をはさみ石井光一副会長が挨拶。まず先頃発表になった平成29年度アミューズメント産業界の実態調査結果(オペレーション売上4,859億円で3年連続の増、製品販売高1,529億円でほぼ横這い)について触れ、「施設売上好調のプラス要因としてインバウンド効果、規制緩和など色々あげられるが、最大の要因は各企業の努力だと感じている。この10月～12月にかけてメーカー各社が新製品を投入するが、それも今年度後半戦の起爆剤になってくれればいいと思う」と明るい表情で語り、さらに、ゲームセンターの今後について「技術的な面ではARやAIが導入されてくるはず。そして、カフェや物販等、他業種とのコラボなどで新たなエンターテインメント施設に成長していかなければならない時代が来るのでは」として、そのための色々なアイデアを積極的にあげてほしいと呼びかけた。石井副会長は最後に、次なる規制緩和、来年に控えた消費税アップを話題にあげ「それらについて、皆さんと一緒に考えていきたい。情報交換会の場でご提案などが出て、それを機にJAIAの活動に拍車がかかればこんな素晴らしい会合はない」と締めくくった。

続いて、法務部の柴田健専務理事、鈴木剛夫常勤顧問が風適法関連の状況に関し報告。「ゲーム業界の健全化が果たされてきたことで、当局にもクレームゲーム等に関し、ある程度の柔軟性をお願いできるようになってきた」状況とともに、開発メーカーやオペレーション現場からあがってきた疑義等について当局に頻繁に相談に赴いている現状とその内容について説明が行われた。一方、ナイトタイムエコノミーを背景とした営業時間の延長、景品限度額の引き上げ、リデンプションゲームなど次なる規制緩和の実現に向けて働きかけを行うなかで、重要なのは国民の声であることを強調。なお、折しも国会で入管法改正が取り上げられている中、外国人の働く場として、風俗営業店舗であるゲームセンターは不可ということに疑問を呈し、留学生の夜の仕事場として、飲食店と同様、ゲームセンターが認められるよう要望していく姿勢を示した。

その後、店舗活性推進委員会の畦田在隆委員長が登壇。同委員会の設立経緯と活動内容について説明し、会員限定で行っている天下一音ゲ祭大会楽曲無料配信(申込制)をきっかけに、「JAIA店舗DB(データベース)」システムの構築に着手したことを報告。データベースに事前登録しておくことで、申込み不要で自動的に楽曲が配信される他、店舗運営の標準的なPOP等も無償で提供されるとして、店舗情報の登録への協力が求められた(1月初旬に案内、下旬から受付開始。4月より公開予定)。



会場／「SHIROYAMA HOTEL kagoshima」5F ルビーホール
15:00～15:45 講演「西郷隆盛」
16:00～16:10 JAIA 石井光一副会長挨拶
16:00～17:00 風適法関連について
(柴田健専務理事／鈴木剛夫常勤顧問)
店舗活性推進委員会事業報告(畦田在隆委員長)

JAIA 全国情報交換会

報 換 会

犬伏和章本部長(右)は、「記念すべきこの年に鹿児島で無事、情報交換会が実施できたことに感謝します。薩摩の人間は明治維新は自分たちの国がやったと思っているから」と乾杯挨拶。
山下滋常任理事(左)は、「山下家のルーツは鹿児島。私にも鹿児島の血が入っています。1本、3本ではありきたりなので2本で」とユーモアあふれるオリジナルの締めで最後に会場を盛り上げた。



懇親会

18時30分～20時30分
2F「アメジストホール」

後半は、地元アーティストによる余興で会場は熱気にあふれた。

紆んちゅ

Yoko

来年度の情報交換会は福岡にて開催決定。福岡県本部の児玉輝明氏が挨拶。

親睦レジャー

観光 2日目



「知覧特攻平和会館」「奄美の里」「仙巖園」を巡る観光に15名が参加。屋食は鹿児島の郷土料理(約370年前から奄美に伝わるおもてなし料理)・鶏飯(けいはん)。

親睦レジャー

ゴルフコンペ 2日目



「ゴールデンバームカントリークラブ」(鹿児島市)において開催。34名が参加した。

<優勝> 松嶋義則氏 ※左写真
(株)コミュニケーション・ワークス
<準優勝> 山下滋氏
(株)セガ エンタテインメント
<3位> 長瀬藤吉(株)エイコー

講演 西郷隆盛



講師／安川あかね氏

講師(SHIROYAMA HOTEL kagoshima 勤務)は20歳の時、父親の影響で幕末明治の時代に触れ、そのエネルギーと西郷隆盛の人柄に衝撃を受けて西郷さんをもっと知りたいと足繁く鹿児島に通った末、27歳で神奈川県横須賀市から鹿児島市に移住。自らを「西郷隆盛追求家」とし、なぜ西郷隆盛が時代を超えてこれほどまでに人々の心を捉えるのか、プロフィールや生涯、偉業について紹介する活動を行っている。今回は45分という限られた時間での説明となったが、わかりやすい軽妙なトークで惹きつけた。

ちなみに、西郷隆盛は島津斉彬亡き後、奄美大島に潜居させられていた際、島の女性(愛加那)と結婚。島妻は島の外に出られないという掟があったため、愛加那は結婚当初から西郷が薩摩藩に戻ることを予見し、毎日まげを結ってあげる折に抜ける髪を大切にためていたという。結婚生活は約3年。西郷が薩摩藩に呼び戻されてからは髪束を形見として後生大事に持ち続けた。後に、この髪を鑑定、西郷隆盛がB型であったことが判明したというエピソードがある。

11月23日は「ゲームの日」

4月のJAIA発足により新体制のもと初めての実施となった**第24回「ゲームの日」**。例年同様、「ゲームの日」(11月23日の勤労感謝の日)にあわせて全国で各種イベントが実施された。

「ファン感謝デー」は、ゲームの日当日、「遊びで元気になろう!」をテーマに、全国413店舗において、フリープレイ台設置やクレジットサービスなど各店任意の内容で、文字通りお客様への感謝の気持ちを表した。

「アミューズメント ラブ・エイド」は、日頃、アミューズメント施設で遊ぶ機会の少ない方々に楽しんでいただこうと、「ゲームの日」に前後して、遊園地・AM施設への招待やAMの出前を各県本部主導で企画。毎年の恒例行事として楽しみにされているところもあり、定着したイベントとして育っている。(※実施した県本部は今月から順次掲載)

また、今回で5回目を数える「天下一音ゲ祭」は、「ゲームの日」のイベントの一環として11月に店舗予選会を開催しており、今回、全国でのべ715店舗の参加となった。

なお、「アミューズメント アンケート」は、「ゲームの日」から来年2月23日を期間として「ゲームの日」公式ホームページ上にて来店動向調査を行うもので、結果がまとまり次第、紙面にて発表する。

アミューズメント ラブ・エイド in 大分

尾崎 隆
本部長

平成9年から毎年、遊園地(別府市「城島高原パーク」)に児童養護施設の子どもたちを招待している大分県。22回目となる今年は、平成30年10月13日(土)9時45分~16時30分に実施。玖珠郡玖珠町の「鷹巣学園」の幼児~高校生の計32名が澄み切った青空の下、秋の一日を元気いっぱい楽しんだ。

例年通り、開会セレモニーの後、フリーパスで自由に園内を楽しむという内容。途中の昼食はカレーバイキング(フリードリンク付)で、閉会セレモニーの前には毎回大好評のお楽しみ抽選会も。ちなみに、この抽選会は男女別、就学別に行う三角くじで(ハズレなし)、不参加の子どもの分を代わりに引率職員が引き、お土産にした。

大分県本部の尾崎隆本部長は、「我々JAIAが行動で示した励ましや慰めの善意は間違いなく楽しい思い出となり、人々の優しさや温もりとして心に残るものと信じます。どんなに厳しい状況であろうとも素直で明るく希望を持って伸び伸びと元気に育ち、立派な社会人に成長することを願い、期待したい。関係各位の深いご理解とご支援ご協力で今年もラブエイドを開催できたことに感謝の気持ちでいっぱいです」とコメントしている。

アミューズメント ラブ・エイド in 熊本

松嶋義則
本部長

「スペシャルオリンピックス日本・熊本」のアスリートおよびその家族、ボランティアを招待するイベントも今回で15回目。11月23日(祝)、宇土市の宇土シティモール内「宇土パスカワールド」(株コミュニケーション・ワークス)に113名をお招きした。

取れやすく設定したクレーンゲームの無料開放(9時~10時)、ボウリング2ゲーム(10時~12時)の後、お弁当とお茶をプレゼントして散会。同団体・黒田常務理事の開会挨拶(「毎年招待していただき皆さん大変喜んでいたので何らかの形でお礼をさせていただきたい」)の通り、多くの方が心待ちにされており、帰りには景品袋に入りきれないほどの景品を手にとった笑顔。

なお、「スペシャルオリンピックス」は知的障害のある方たちの社会参加をスポーツにより応援しようという国際的な組織で、日本では熊本が発祥の地。

11月23日は「ゲームの日」

アミューズメント ラブ・エイド in 鹿児島

9回目となる「スペシャルオリンピックス日本・鹿児島」の招待イベント。今回は鹿児島市のゲームセンター「電撃ベイサイド店」((株)東京ヴァンピーノ運営)にアスリート45名、付添のボランティアや家族45名、計90名を招待した。

当日は朝8時50分集合。主催者挨拶の後、9時～10時、店内を無料開放した。

犬伏和章
本部長

「南日本新聞」
(12月12日朝刊)

ラブエイドの様子は、南日本新聞社(左)の他、NHK鹿児島放送局、鹿児島テレビ放送(KTS)、鹿児島放送(KKB)、南日本放送(MBC)が取材した。

鹿児島県本部事務局の閉会挨拶、SON鹿児島アスリート代表の感謝の言葉に続き、記念撮影(上写真)。

ゲームを無料開放
日本アミューズメント産業協会鹿児島県本部は9日、知的障害者のスポーツ組織「スペシャルオリンピックス日本・鹿児島」のメンバーや保護者ら約90人を鹿児島市浜町の「ゲームセンター 電撃ベイサイド店」に招待し、ゲーム機を無料開放し



たし写真。同協会の社会貢献活動の一端が24回目。予定された1時間いっしょにゲームを満喫した。クレームゲーム機は景品を取りやすい工夫も施され、品が取れた参加者はうれしそうな表情を浮かべていた。景品を手にした山寺光さん(13)は「時計が取れてうれしかった」と笑顔で語った。終了後、参加者は同協会に感謝の思いを寄せ書きした色紙を贈った。



平成30年12月15日(土)16日(日)

第五回 天下第一音ゲ祭

公式サイト <http://www.otogesai.jp>

ブロック決勝大会開催
～全国頂上決戦出場者決まる～

ゲーム機メーカー4社の協力のもと左記5機種を対象とした音楽ゲームの全国大会。そのブロック決勝大会が12月15、16日、全国11ブロックにおいて開催され、JAEPO2019特設ステージでの全国頂上決戦(1月26日)に進出する55名の選手が決定した。

なお、例年、店舗予選会は「ゲームの日」を中心に実施しているが、JAEPO2019の開催時期が早まった関係で今年度は11月3日～11日に行っており、のべ715店舗でおよそ3000名が参加した。ちなみに、大会楽曲は各協力メーカーからのべ2109店舗に無料で先行配信された(JAIA加盟店舗対象・申込制)。

SOUND VOLTEX IV HEAVENLY HAVEN ((株)コナミアミューズメント)
maimai MILK PLUS ((株)セガ・インタラクティブ)
CHUNITHM STAR PLUS ((株)セガ・インタラクティブ)
GROOVE COASTER 4 STARLIGHT ROAD ((株)タイトー)
太鼓の達人 ブルーVer. ((株)バンダイナムコアミューズメント)

大阪ブロック

関西ブロック



2018/12/14

施設営業事業部 地域懇談会

長野県本部(本部長／宮本和彦)

東海・甲信地区本部(本部長／宮本和彦)

平成 21 年より毎年、長野市、松本市の2カ所で地域懇談会を開催している長野県。松本市での開催は今回で 10 回目。地域・行政団体出席者7名のうち4名が初参加となった。

冒頭、宮本本部長がAOU、JAMMAが合併しJAIAとして新たにスタートしたことを説明。今後も広く地域・行政関係者と意思疎通を図り青少年健全育成のために尽力すべく、忌憚のない意見をいただきたいと挨拶した。

続いて、来賓挨拶に立った松本警察署・大久保課長は県内の少年犯罪の傾向について説明するとともに、「県内小中学校の通学路の合同点検を行う中で点検項目の1つに「子どもが逃げる場所があるか」ということがあるが、JAIAが実施する『こども110番』が子どもの避難場所になっていることを思い知らされ非常にありがたいと思っている」と語った。

行政・地域団体出席者の主な意見・要望は次の通り。全体的に高い評価をいただき、JAIA柴田専務理事は閉会挨拶で「これからも引き続き安心して楽しんでいただけるような店舗を作っていく」として協力を呼びかけた。

- ◇ ◎貧富の差が広がる中で不登校の子どもが増えている。夏場は命にかかわる暑さだが、エアコンを所持している家庭ばかりではない。そういった状況下、ゲームセンターで涼んでいる子どもがおり安否確認がとれて安心した。(中信教育事務所)
- ◎ゲームセンターに特に問題を感じない。最近は保護者の顔をした精神的に未熟な大人が増えているように思う。理不尽な要求や自分勝手な意見を言う方もいるのでそれに見合った声かけや対応が必要と感じる。ゲームセンターは家族団欒の場だと思う。(市PTA連合会)
- ◎本日JAIAのDVDで初めてゲームセンターの内容を知り、今後ゲームセンターに行ってみようと感じた。青少年アドバイザーがいるのも安心。(市小学校長会)

日時／平成30年10月10日(木)14時～16時
場所／松本市勤労者福祉センター2-2会議室

行政・地域団体出席者(7名)

松本市役所こども部こども育成課	内山 健一氏
松本警察署生活安全第一課 課長	大久保文雄氏
中信教育事務所学校教育課 主任指導主事 生徒指導専門指導員	峯村 勲氏
松本市子ども会育成連合会 副会長	小岩井里美氏
松本市PTA連合会 副会長	上條 洋氏
松本市小学校長会 副会長	大内 勝氏
松本市中学校長会 会長	塚田 道彦氏

業界側出席者(14名)

(一社)JAIA 専務理事	柴田 健
(一社)JAIA 常勤顧問	鈴木 剛夫
東海・甲信地区本部長／長野県本部長	宮本 和彦

他



- ◎ゲームセンターが不良のたまり場という時代はもう終わったと感じる。学校でゲームセンター禁止の指導はしていない。むしろオンラインゲームが日々の学校活動に支障をきたす場面が多くなっているの、そちらの指導がほとんど。(市中学校長会)

- 愛想が良くない店員がいる日は活気がない。店員のため口も嫌だ。しかし、アットホームなところは好き。店内、ゲーム機がキレイなところ(掃除が行き届いている)も良い点。リクエストとしては、設置希望マシンの投書箱のようなものを置いてユーザーの意見を聞いてくれるとウレシイ。店内の一角に「レトロゲームコーナー」or「ユーザー希望コーナー」を作って「今日はコレ！」みたいにしてほしい。(大阪・35歳・♂)
- 待ち用のイスがあって良心的だと思いました。その間、達人の技が見られて楽しいです。(神奈川・28歳・♀)
- スタッフの対応が早くて良い。(静岡・48歳・♂)
- タバコのけむりが気になります。(静岡・59歳・♀)
- 音ゲー全般の照明をもう少し下げるとやりやすいと思います。(静岡・23歳・♀)
- メンテナンスが良くてありがたい。待ちイスが増えればもっと良い。(静岡・23歳・♂)

全国のAM施設の意見箱に寄せられた声

ユーザーの声



- 店員さんが親切に取りやすい所にぬいぐるみを置いてくれたのでうれしかったです。(大阪・23歳・♂)
- 平日の午前中にイベントをもっと行ってほしい。(東京・65歳・♀)
- 音楽ゲームがくつつきすぎていて、プレイヤー同士がぶつかったりするのをたまに見ます。近くのエアホッケーのバックが飛んできたりもします。良いところは、店員さんの対応。いつも笑顔で、ゲームの不調などもすぐ対応していただけるので。(大阪・24歳・♀)
- 店員さんが優しいので毎週来てます。(大阪・28歳・♀)
- 音楽ゲームのところに手ふきが欲しい。(静岡・24歳・♂)
- 音楽ゲームエリアの筐体が密集しすぎ。音量が明らかに大きいゲームと小さいゲームがはっきりしすぎている気がする。台数の割に順番待ちのイスも少ない。(静岡・26歳・♂)
- 駐輪場がもう少し広くてもいいかと思いました。(大阪・22歳・♂)

施設営業事業部 地域懇談会

長野県本部(本部長/宮本和彦)
東海・甲信地区本部(本部長/宮本和彦)

長野市での開催は今回で14回目。地域・行政団体出席者7名のうち2名が一昨年、昨年に続く参加、5名が初参加となった。

宮本本部長の挨拶に続き、長野県防犯協会の篠根専務理事が「全体的な犯罪件数が減少するなかで女性やお年寄り、子どもを狙った犯罪が増えており、引き続き注意喚起を継続していきたい。来週、長野市で講演会を実施、少しでも多くの皆様に現状を伝えたいと思っている」と来賓挨拶。DVDによるJAIAの事業説明の後、懇談に入った。

行政・地域団体出席者の主な意見・要望は次の通り。

- ◇ ◎現在、見回りをしている中ではゲームセンターのトラブルはない。保護司をしていると様々な子どもと接することが多いが、ほとんどが家庭内でのトラブルを抱えており、家庭内の養育力が非常に下がっている印象がある。(県少年警察ボランティア協会)
- ◎昨年の少年犯罪件数は過去最低。ただし、SNSやインターネットを通じて知り合った大人と未成年が出会うことによるトラブルは増えており、そういった出会いの際の待ち合わせ場所としてゲームセンターが利用されることもあり得るので、年齢の離れたカップルや保護者を装った異性には注意していただくようご協力をお願いしたい。(県警本部)
- ◎一昨年、昨年と行政処分は0件。ただ、小学生が行方不明になった際、夜9時頃ゲームセンターで発見された。一人でいる子どもには必ず声かけを。(県警本部)

【業界から】

0件といえど、夜9時頃に行方不明の小学生がいるというのは行政処分の対象になってもおかしくない。今後このようなことが無いように注意する。また、過去事例の1つとして今後の対応策につながるため、そういった施設に関しては行政処分を行っていただきたい。

- ◎青少年の事件でゲームセンターが現場になることは最近少ない。ただし、自転車の盗難等はゲームセンターの駐輪場でも起きているので、店内だけでなく駐輪場や駐車場にも防犯カメラの設置を。また、設置されている店舗でも、従業員が操作できなかったり、防犯カメラの時刻と実際の時刻が大幅にずれていることがあるので、その点も含めて協力をお願いしたい。(長野中央警察署)

【業界から】

防犯カメラの時刻のずれというのは初めてのご指摘だったので、注意していく。また、全従業員が防犯カメラの操作方法を理解するよう改めて伝える。

日時/平成30年10月11日(金)14時~16時
場所/共和コーポレーション 2階会議室

行政・地域団体出席者(7名)

長野県庁次世代サポート課 次世代企画係 事務嘱託員	串田 怜菜氏
長野県県民文化部次世代サポート課 主事	木村 早希氏
長野県警察本部生活安全企画課 許可事務担当 係長	下山 弘嗣氏
長野県警察本部生活安全部少年課 少年サポートセンター室長	布施谷明子氏
長野中央警察署生活安全第一課 少年係 係長	高橋 隼人氏
長野県防犯協会連合会 専務理事	篠根 義文氏
長野県少年警察ボランティア協会 副会長	町田 榮司氏

業界側出席者(15名)

(一社)JAIA 専務理事	柴田 健
(一社)JAIA 常勤顧問	鈴木 剛夫
東海・甲信地区本部長/長野県本部長	宮本 和彦

他



- ◎現在、「ながの子育て家庭優待サービス」「多子世帯応援プレミアムパスポート」「いい育児の日」などの子育て世代へのサービスを行っており、県内のゲームセンターにおいても多数の店舗に加入いただいている。まだ加入していない店舗があったらご協力をお願いしたい。(県民文化部)

【業界から】

是非協力させていただきたく、加入数が増えるよう会員に伝えていく。

ごあんない
ジャパン アミューズメント エキスポ 2019 懇親パーティ

「JAEP02019」初日の夜、右記要領でJAEP02019実行委員会(山下滋委員長)主催の懇親パーティが開催されます。多数のご参加をお待ち申し上げます。

日時/2019年1月25日(金)19:00~20:30
会場/東京プリンスホテル 鳳凰の間
東京都港区芝公園3-3-1
TEL 03-3432-1111 (代)
会費/13,000円(税込)

【申込先】(一社)日本アミューズメント産業協会(JAIA)
〒102-0074 東京都千代田区九段南3-8-11 飛栄九段ビル8F
TEL03-3556-5522 FAX03-3556-5524

IAAPA Expo 2018

International Association of Amusement Parks and Attractions

会期／カンファレンス 2018年11月12日～16日

トレードショー 2018年11月13日～16日

会場／米国フロリダ州オーランド

オレンジカウンティコンベンションセンター

遊園施設
事業部
視察

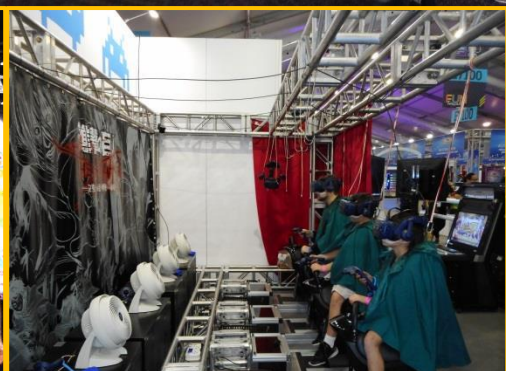


1918年に設立されたIAAPAは、100カ国以上、5300を超える会員を擁するパーク＆アトラクション関連の国際組織。今年、記念すべき100周年を迎えた。

アメリカ、ヨーロッパ、アジアにおいてIAAPAのトレードショーが開催されているが、アメリカのものが一番大きく、従ってアメリカにおける展示会は世界最大規模の遊園施設の展示会。今回も1000社以上が出展し、世界各国から遊園地等の施設やバイヤーなど多くの関係業者が来場した。

なお、トレードショー初日朝9時よりイベントホールにおいて、1000人超の関係者が参加し100周年イベントが行われた。

IAAPA プレジデント&CEO
Harold J. McEvoy 氏



トレードショーの目玉の1つとなった三精テクノロジーズ㈱のブース。人が搭乗したまま、車の状態(左写真)から、徐々に変形し、ヒト型ロボットに(右写真)。実際に移動させ、注目が集まった。



今年、三精テクノロジーズは、老舗大型メーカー2社(写真)を傘下におさめた。



S&S社(アメリカ)



国土交通省の支援を得て、建築指導課動力・設備係長の片山大輔氏とともにJAIA遊園施設事業部では各種国際会議に出席した。



ボールプールのボールを詰めたイスで一休み。



車椅子専用座席を設けたライド登場。



ベコマ社(オランダ)



大型遊戯施設にもVR導入が顕著に。

施設営業事業部

研修委員会

次年度の青少年指導員養成講座に関し討議。以下の内容で実施することを決めた。

1. 大阪会場日程について

事務局から来年年11月のホテルプリムローズの会場空き状況の報告があり、内田委員長のスケジュールが決まり次第、例年通りホテルプリムローズをおさえることとした。(※後日、11月13日～14日に決定)

2. 鈴木顧問の講義について

東京・大阪の「実務風適法」の講義について、これまで同様、鈴木剛夫顧問を講師として継続することとし、内田委員長から鈴木顧問に依頼することとした。

3. 講座名について

3月のAOUの解散に伴い、AOUを冠した現状の講座名について討議。浸透している今まで通りの名称で当面、開催することとした。

4. 地場オペレーターの受講促進について

中小の地場オペレーターの参加を促すべく、社員を派遣する責任者に講座の良さを理解していただけるよう認知度を上げていく策を検討することとした。

日時／平成30年11月8日(木)11時20分～12時

場所／ホテルプリムローズ会議室・福の間(大阪市)

出席／内田慎一委員長はじめ委員7名

+事務局2名+JAIA石井光一副会長



5. 外部講師について

引き続き、次年度も依頼することとした。

6. 受講料について

来年の消費税アップに鑑み、これまで税込2万5000円だった受講料を外税にすることとした。

施設営業事業部 山形県本部 山形県青少年のための環境づくり懇談会

平成30年11月29日(木)、山形県庁2階講堂において「平成30年度青少年のための環境づくり懇談会」が開催され、山形県本部から菅原広行本部長が出席した。

同懇談会には、薬務・教育・警察・防犯関係者10名、青少年指導(補導・育成)センター13名、総合支庁7名、関係団体21名、事務局15名の66名が参加。「県内の少年補導の概況」「薬物乱用の現状」「いじめの現状」「山形県青少年健全育成条例の改正骨子(案)について」の報告がなされた後、各業界における青少年に関する問題点とその対応についての懇談が行われ、各関係団体から業界内の申し合わせ事項が説明された。

アミューズメント業界の申し合わせ事項として発表したのは、①18歳未満の者は午後10時、16歳未満の者は午後7時以降立ち入らせない(ただし、保護者同伴の場合は午後10時まで立入可)、②不良行為少年のたまり場にならないようにする、③未成年者に飲酒・喫煙をさせない、の3点。菅原本部長は、「ここ数年主題となるのは、スマートフォンにおける有害サイトの接続により青少年が犯罪に巻き込まれることや、SNSでのイジメがほとんど。青少年の犯罪等は減少している状況だが、スマートフォンの正しい利用法をどう伝えていくかということに懇談の時間がかけられている」とコメントしている。

消費税率の引上げに伴う価格設定について(ガイドライン)

平成30年11月28日

内閣官房 公正取引委員会 消費者庁 財務省 経済産業省 中小企業庁

1. 価格設定に関する考え方

我が国においては、消費税が1989年に導入されて以降、導入時及び税率引上げ時に、一律一斉に価格が引き上げられるものとの認識が広く定着しています。

これに対し、1960年代から1970年代前半に付加価値税が導入され、税率引上げの経験を積み重ねてきている欧州諸国では、税率引上げに当たり、どのようなタイミングでどのように価格を設定するかは、事業者がそれぞれ自由に判断しています。このため、税率引上げの日一律一斉に税込価格の引上げが行われることはなく、税率引上げ前後に大きな駆け込み需要・反動減も発生していません。

たしかに、消費税は、事業者ではなく、消費者が最終的には負担することが予定されているため、消費税率引上げ後に小売事業者が値引きを行う場合、消費税転嫁対策特別措置法により、「消費税はいただいていません」「消費税還元セール」など、消費税と直接関連した形で宣伝・広告を行うことは禁止されていますが、これは事業者の価格設定のタイミングや値引きセールなどの宣伝・広告自体を規制するものではありません。例えば、「10月1日以降〇%値下げ」「10月1日以降〇%ポイント付与」などと表示することは問題ありません。

また、今回は、中小・小規模小売事業者に対して来年10月の消費税引上げ後の一定期間に限り、ポイント還元といった新たな手法などによる支援などを行う予定です。これにより、中小・小規模小売事業者は、消費税率引上げ前後に需要に応じて柔軟に価格設定できる幅が広がるようになります。

大企業においても、消費税率引上げ後、自らの経営資源を活用して値引きなど自由に価格設定を行うことに何ら制約はありません。

2. 価格設定に関する考え方

このように消費税率引上げ後、小売事業者が自らの経営判断により値引きを行うことに法令上の制約はありませんが、事業者間の取引については、当該小売事業者が製品・サービスを納入する下請事業者等がしわ寄せを受け、適正な価格転嫁ができず、増税分を負担させられるような事態があってはなりません。

消費税転嫁対策特別措置法は、小売事業者や下流の事業者が、下請事業者や上流の事業者に対し、消費税増税分を減額するよう求めたり、利益提供を求めたりすることなどを禁止しています。来年10月の消費税率引上げに際しても、下請事業者等に対するこうした不当な行為がなされないよう、引き続き、転嫁Gメンによる監視や関係機関による周知を厳格に行っていきます。

3. その他

消費税率引上げ後、消費の平準化を図るために一定の支援措置を講じる予定としており、事実上反して、消費税率引上げ前に、「今だけお得」といった形で消費者に誤認を与え駆け込み購入を煽る行為は、景品表示法に違反する可能性があります。

消費税転嫁対策特別措置法は、税込価格の表示(総額表示)を義務化している消費税法の特例として、「事業者が表示する価格が税込価格と誤認されないための措置を講じているときは、税抜価格を表示できる」と規定しており、これについて特に変更はありません。

また、従来、消費税率の引上げを理由として、それ以上の値上げを行うことは「便乗値上げ」として抑制を求めてきましたが、これは消費税率引上げ前に需要に応じて値上げを行うなど経営判断に基づく自由な価格設定を行うことを何ら妨げるものではありません。

ガイドライン
掲載サイト

政府広報オンライン https://www.gov-online.go.jp/tokusyu/keigen_zeiritsu/other/anteiteki.html#kensyo
内閣府ホームページ <https://www.cao.go.jp/tenkataisaku/index.html>

アミューズメント施設における景品提供のガイドライン

1. 目的

アミューズメントマシンにより提供される景品についてその種類、内容および営業方法を規定することにより、公正な競争秩序を確立するとともに、景品提供営業さらにはアミューズメント業界の将来に向けた健全な発展に資することを目的とする。

2. 定義

本ガイドラインで規定する景品とは風俗営業適正化法第2条第1項第5号で規定されるゲームセンター等における営業において使用される「遊技の結果が物品により表示される遊技の用に供する遊技設備」で提供される物品をいう。

3. 景品の内容

①景品の価額

景品1個の価額は、風俗営業適正化法解釈基準で定められた価格を超えてはならない。

市販価格とは、景品専用に開発された商品を除き、一般市場における価格とする。

なお、景品専用に開発された商品であっても1個あたりの価格は風俗営業適正化法解釈基準で定められた価格を超えてはならない。

②景品の種類

善良な風俗の保持、清浄な風俗環境の保持および青少年の健全な育成に障害を及ぼす行為を防止する観点から、ゲームセンター等における正常な商習慣に照らし適合すると認められる景品に限る。また、食品衛生法の遵守および他者の知的財産権を侵害することがないようすべきである。以上の点を踏まえ、次に掲げる物品等をゲームセンター等に設置されるアミューズメントマシンにおいて提供される景品として製造・販売・流通してはならない。

- i たばこ、喫煙器具類およびこれらをモチーフにした商品
- ii 酒類、および酒をモチーフにした商品
- iii 医薬品、興奮・めまい・幻覚等の作用を目的とする有機溶剤や成分を含有する物品類

- iv 青少年の健全な育成や公序良俗を阻害する内容が印刷または記録された各種メディア(図書、写真、フィルム、ビデオテープ、CD-ROM・DVDなどの記録メディア類)
- v 性的な行為の用に供する物品および性器を模した物品類
- vi ショーツ、ブラジャー等の下着類
- vii 金券類および類似品
- viii 食品衛生法に抵触する材料を使用した物品類
- ix 偽造ブランド品や偽造キャラクターを使用したもの等、他者の知的財産権を侵害している物品等
- x 心身に危害を与える恐れのある物品等(レーザーポインター、刃物類)
- xi 動物愛護の精神に反する生物

4. 景品提供の方法

- ①1回の遊技結果に提供する景品は、複数個提供する場合にも上限は800円を超えてはならない。
- ②景品は、あらかじめ表示されている景品と同一の景品でなければならない。
- ③景品と異なる高額なものをデモンストレーションとして展示してはならない。
- ④カプセル内に品名や記号を記したチケットなどを入れ、これを景品と交換してはならない。
- ⑤提供した景品をもって他の景品と交換してはならない。
- ⑥景品が手渡しで提供される仕組みの遊技の場合においても、本要領の定めるところにより、景品の取り扱いを行わなければならない。
- ⑦風営適正化法に定めるいわゆる4号営業に用いられるパチンコ機、パチスロ機に類する遊技機、メダルゲーム、ビデオゲーム、フリッパーゲーム機等の遊技機を用いる遊技においては、景品を提供してはならない。

5. 附則

このガイドラインは、平成26年4月1日から適用する。

JAIA 2019アミューズメント産業 新春賀詞交歓会

と き／平成31年1月11日(金)

17時30分～19時

ところ／東京ドームホテル 地下1階「天空の間」

東京都文京区後楽1-3-61

03-5805-2111(代表)

会費／前売11,000円 当日12,000円(税込)

※会員宛に10月下旬、「開催のご案内」を送付しています。
前売券購入申込みは同封の申込書にてFAXにて。

<お問合せ先>

JAIA事務局内

アミューズメント産業賀詞交歓会事務局

(担当:酒井)

TEL03-6272-9030

FAX03-6272-9411

申込締切 12月21日(金)

ご協力ください 冬季の省エネルギーの取組について

www.meti.go.jp/press/2018/10/20181023008/20181023008-1.pdf

平成30年10月23日開催の省エネルギー・省資源対策推進会議省庁連絡会議において、11月から3月の冬季の省エネルギーの取組を推進するため、「冬季の省エネルギーの取組について」が決定しました。(※内容は上記URLを参照ください)

省エネルギー・省資源対策推進会議省庁連絡会議は、関係政府機関で構成。毎年、夏と冬の省エネキャンペーン期間が始まる前に開催されています。

国、地方公共団体、事業者及び国民が一体となった省エネルギーに関する取組の推進が求められています。JAIA会員におかれましても、より一層の省エネルギーの取組の実践にご協力ください。

